

エコけん ニュース

No. 66 2005. 1

連絡先 NPO法人エコけん事務局

☎ 090-6635-9472 (火~土 9:00~17:00) e-mail eco.sta@eagle.ocn.ne.jp

発行責任者 清水佳香




http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

12月活動報告



皆様、明けましておめでとうございます。2005年の幕開けはいかがでしたでしょうか。本年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、12月のエコけんの活動は下表の通りです。エコロの森では、いよいよ「マイ企画」の実施企画が決まりました。皆様の企画へのご参加・ご協力お待ちしております。なにせ、初めてのことなのでスタッフもおたおたしております。「マイ企画」興味を持たれましたらぜひエコロの森へお問い合わせ下さい。お待ちしております。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
3		ボラ会〈布・エコクッキング〉
4		リメイク教室《びんツールペイント》
6	環境省文部科学省共催環境教育リーダー研修会講師	
7		ボラ会〈廃油せっけん〉
8	活動支援《with kids》	IJJKッキング  IJKの森通信発行
10		ボラ会〈布〉
11		エコロ環境教室 (東小3世代交流塾)
15	活動支援《福岡町生涯学習課IJKクッキング出前》	マイ企画選定会議
18		創作アート教室《段ボール》かえっこ《B&S》 
20	古賀市広報公聴懇話会出席	運営会議 大掃除 冬休み教室
21	 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> IJKの森は 毎日にきりやか なってきました。 見に来て下さい。 </div>	エコロ環境講座 ボラ会〈布〉
24		リメイク教室《布》 プラレールで遊ぼう
25		子どもIJK環境講座 リメイク教室《紙すき》
28	エコけんニュース65号発行	ほっとちやっと19号発行 ~1月6日



「エネルギー環境」とは…



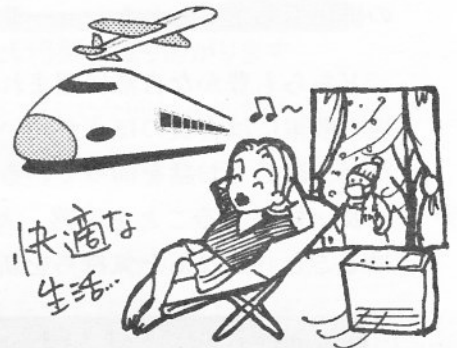
私たちヒトが生きるこの地球が、誕生したのは、46億年前。
その長い長い歴史を一年カレンダーに見立てると、ヒトの誕生は
「12月31日午前11時37分頃」だそうです。

地球の歴史からすると、ヒトの歴史はほんの短い時間に過ぎません。

ところがこのところ、ヒトの活動そのものが地球環境へ及ぼす影響が無視できなくなっていることが明らかになってきました。

私たちヒトは、「より豊かに」という願いをもって様々な活動をしています。「豊かさとは？」と問われれば、多くの答えがあるでしょう。例えば、より健康に、より速く、よりたくさん、より簡単に…。

これらを実現させるには、より高い技術とたくさんのエネルギーが必要です。これまで、技術は、ヒトの英知によって創造され続けてきました。



エネルギーは、特に産業革命以降、地球の遺産とも言える化石燃料を活用することができるようになることによって大量に得ることができました。しかし、この化石燃料の大量利用が現代最大の地球環境問題である、地球温暖化による気象変動をもたらしているらしいのです。

上記のように、現代の環境問題はヒトのエネルギー利用と直結しています。そこで、特にエネルギーの視点で環境を見つめようという発想により研究会から生まれた言葉が「エネルギー環境」というわけです。

また、「エネルギー環境」はヒトの活動と深く関わるものですから、「教育」とも深く関わっています。北部九州エネルギー環境教育研究会では、互いに情報や実践を持ち寄り、研究・実践を深めていこうと試みています。

次の発表会の機会にはぜひ皆様のご参加お待ちしております。



例年のごとく今年も

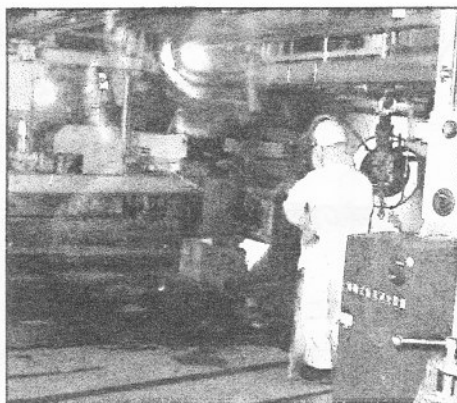
研修に行きました!



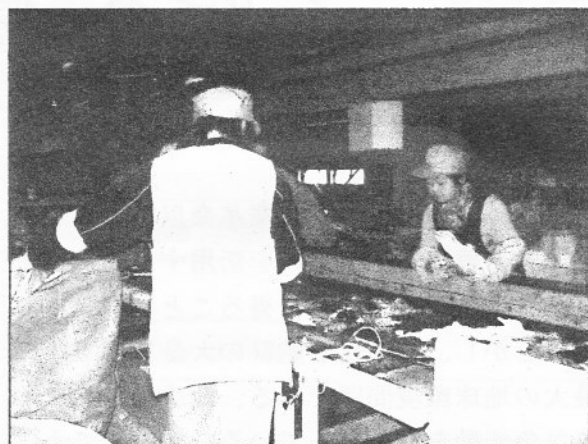
最初に訪れたのは、宗像市にある宗像清掃工場です。

私たちの町の古賀清掃工場と双子みたいな所だけにいっそう、違いが目につくものですね。例えば内装 - 白を基調にした硬質な雰囲気古賀とは対照的に、裸の壁に木質を多用した宗像の再生展示棟。燃焼棟はガス化溶解炉なので、高さのあるゴミピットでの攪拌作業は圧巻でしたし、スラッグの排出もちょっとしたショー並みでした。

どちらも豊かな自然に囲まれているけれど、敷地の散策には古賀のほうが向いているかな? ただ、詳しくお話を伺っているとやはり何事にも一長一短があることを実感。大切なのは「ゴミ減量をはじめとしたエコロの活動を続けること」だなあと気持ちを新たにしました。



▲スラッグの排出のようす



▲手触りだけでポリスチレン・ポリプロピレンなど分けます

プラスチックに、新たな価値を見出すためのさまざまな工夫がなされていたのですが、なかでも特に心に残ったのは、選別過程です。硬く圧縮して搬入されたものを丁寧にほぐし、4人のスタッフで何種類もの素材に分別されていました。

「役目を終えたものたちはそのままならごみになるけれど、分ければ新たな命が吹き込まれる、エコロの森の1Fと同じですねえ」…後でスタッフの方とお話したことでした。

研修ではいつも、行く先々でがんばっている人に出会えます。だからわたしたちも、ここエコロの森で ☆ファイト☆

次にたどり着いたのは、わたしたちにとって縁深い“その他プラスチック”の再生工場。

もともと建築汚泥の処理を請け負っていた「サックス」さんが、“その他プラスチック”のマテリアルリサイクルに参入したのは昨年のことだそうです。今年から古賀清掃工場からの搬入先選ばれました。

もちろんそこでは、わたしたちの生活の中で役目を終えた廃プラ

小布織り教室

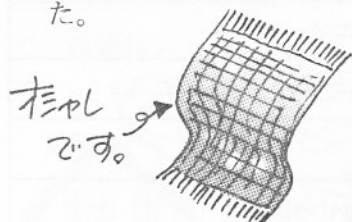
もうすっかり年老いてしまいましたが若い頃から手仕事が好きで、洋裁、編物、スウェーデン刺繍、クロスステッチ等針仕事からちょっとした日曜大工まで楽しんでまいりました。

ところが3年前の大病がもとで目を患ってしまい、楽しみを一度に奪われたようで塞ぎこむ日も多くなりました。心配した娘が誘ってくれたのが先日の染色研究会で、それがご縁で今回は小布織り教室に参加させていただきました。



▲あつという間に織りあがります

先生をはじめとするスタッフのみなさんはとても優しく親切で、右目だけで見ているため奥行きのおからない私に丁寧に指導してくださいました。昔は大きな織機で足も使いながら織ったものですが、今回はとても織りやすい機械でなんとか私も古いハンカチからランチョンマットを織り上げることが出来ました。



模様の出方に意外性があつて面白く、今度はこんな色で織りたいなと久しぶりに創作意欲がわきました。また古い布を使うこともとても懐かしく感じました。(昔は足袋も下着も手作りでした)

先生やスタッフの皆さんご準備から後片付けまで本当にお世話になりました。ぜひまた参加させてくださいませ。楽しみにしております。

(S.N)



◆◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

❖ エコけん賛助会員・ニュース会員常時募集中。興味ある方は、ぜひ事務局までご連絡下さい。